

## 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和2年7月9日(木) 14:05～15:45

場 所：松江市立法吉小学校

対 象：松江市立法吉小学校6年生 86名

指導者：(埋蔵文化財調査センター)(3名)

(法吉小学校)(4名)

### 1. 主 題 「はにわの世界を知ろう」

### 2. ねらい

○島根県や法吉の歴史を知ることを通して、地域の文化財や歴史への興味・関心を高めるとともに、ふるさとに対する誇りや愛情をもつ。

○はにわづくりを行うことにより、古代人の生活や物作りへの関心を高める。

### 3. 展 開 ※13:00～ 学校入り・搬入・準備 (GT)

時刻	主な学習活動	指導者の支援・留意点	準備物
14:05 (5分)	1. 学習活動の見通しをもつ (体育館) ・GTの紹介 ・学習の流れをつかむ。	・GTの紹介(T1) ・埋文センターの仕事の内容・成果などについて簡潔に説明(埋C) ・学習の流れをつかむために、全体の流れを提示し、説明する。(埋C)	プロジェクター スクリーン PC 予定表 (パワポ)
14:10 (10分)	2. 学校周辺の遺跡について学ぶ (体育館) ・地域の歴史や遺跡についてプリントやパワポで解説する。 ※松江市の遺跡数や校区内の古墳	・身近にある遺跡の画像や、出土品などの資料を見せながら、古代の法吉校区の様子を紹介する。(埋C)	プリント
14:20 (10分)	3. はにわについて学ぶ ・写真(プリント)やパワポを用いて説明する。	・ <u>古代人の生活や物作りへの関心を高める。</u> (埋C) ・支援の必要な児童に声をかける。	
～休憩・準備～(10分)		(T1～3)	
14:30 14:40 (45分)	4. はにわづくりに挑戦する (体育館) ・プリントで作り方を学び、はにわを作る ・はにわ作りの間に出土品の見学をする(組ごとに見学)	・古代の人々の工夫や思いなどを取り入れた作品を紹介しながら、理解を深めるようにする。(埋C、T1～3) ・遺物についての大まかな説明をする。(埋C)	プリント 新聞紙 粘土用ヘラ 粘土板 遺物 パネル
15:25 15:35	5. 学習を振り返り、感想を発表する	・分かったことや楽しかったことなどを、積極的に発表できるよう、サポートする。(GT、T1～3)	アンケート

#### 4. 準備

○法吉小：粘土板、粘土用ヘラ、プロジェクター、スクリーン、PC、長机4台、新聞紙  
延長コード、カメラ、ほうき等、ぞうきん

○児童：筆記用具、体操服、水入れ、敷物

○埋文センター：遺物、遺跡・遺物関プリント、はにわの見本、はにわ用粘土、粘土芯、のばし棒、  
施文具、アンケート用紙、白布、カメラ、はにわ作り方プリント、資料プリント